

# 町長の所信を問う



質問者  
寺嶋 正 議員

① 平成22年度一般会計  
予算は37億円で、町税  
15億8千9百万円、地  
方交付税6億5千3百  
万円、臨時財政対策債  
3億6千万円となつて  
いるが、重点施策は何  
か。  
地方財源の確保策は。  
② こども手当は中学生  
まで1人月額1万3千  
円支給されるが、町負  
担がある。それに伴い、  
就園料補助金に所得制  
限を設けることは取り  
やめるべきだ。  
③ 町営住宅再編事業は  
何をするのか。町営住  
宅の整備では、新たに  
住宅再生マスタープラ  
ンをつくり、町営住宅  
の建設を視野に入れ考  
えるべきだ。

① 重点事業は、南口駅  
前広場整備事業、デマ  
ンドバスの運行実験、  
消防団第三分団話所建  
て替え、小児医療費助  
成の対象年齢を中学校  
就学前まで拡大などを

**A** 定住化対策に  
重点  
回答 (町長)

④ 新松田駅南口駅前広  
場整備事業では、事業  
費12億円をもっと減ら  
すことができるのか。  
歩道設置と残りの用地  
取得の予定など伺う。



あしがら花火大会

② 子ども手当の一部に、  
児童手当を町が負担  
する。就園料補助に替  
わる子育て支援拡充を  
図るため、小児医療費  
無料化を拡大する。  
③ 新たな「公営住宅等  
長寿命化計画」を策定  
し、建設や改修等の計  
画を入れる。県から「旧  
家畜保健衛生所を売却  
したいので検討して下  
さい」という打診があ  
り、交渉をしている。  
④ 費用対効果や国庫補  
助制度の先行きが不透  
明なこと等を勘案し、  
交差部の隅切りの用地  
買収は行わず歩道整備  
等の工事を進める。事  
業費は10億8千万円で  
1億4千万円の減額に  
なる。

# 観光事業と商業の 活性化策の対応



質問者  
齋藤 永 議員

沢山の観光客が訪れて  
いる桜祭りや近隣市町村  
と共に開催する、夏の最  
後を飾るあしがら花火大  
会・まつだ観光まつりと  
多くのイベントで集客を  
し、街に沢山の人流を創  
出されている事は大変結  
構なことと存じます。  
反面、普段街なかには賑  
わいが減り商店がシャッ  
ターを下ろし、閑散とし  
た商店街が残っているの  
が現状です。以上の事か  
ら何らかの対応を考えな  
いと町の発展はないよう  
なる。

**A** 商業者の支援を  
していきます  
回答 (町長)

① 観光に力を注がれて  
いるのに、観光という  
名のついた課がないの  
はなぜですか？  
② 今後の新たな取組み  
や広域的な連携は？  
③ 農業と商工業の連携  
による地場産品の開発  
促進は？  
④ 商店街の再生対策で  
町の対応は？



① 機構改革により「環  
境」の名の方が町民の  
視点に立っており、ま  
た『経済』の方が対極  
的には農林と商工観光  
が含まれるため、環境  
経済課にした。  
② 箱根・湯河原・熱海・  
あしがら観光圏推進協  
議会が設立され平成22  
年度から、5年間の観  
光圏整備実施計画を展  
開していく。  
③ 特産品開発事業補助  
金として、百万円を新  
規に計上した。  
④ 近年、若いオーナー  
が工夫を凝らし頑張っ  
ているお店も増えてお  
り、一軒一軒が努力す  
れば、商店街としての  
機能が強化出来るので  
はないか。また、商店  
街活性化事業補助金を  
計上し振興策として活  
用してもらい、商業者  
の意欲の発揮と具体策  
を支援していく。